

茨城県

育成会だより

第 146 号

発行日 令和4年3月10日
 発行 一般社団法人
 茨城県手をつなぐ育成会
 編集 広報委員会
 事務局 〒310-0851 水戸市千波町1918
 茨城県総合福祉会館内
 ☎ 029-243-3838
 FAX 029-243-3854
 URL <http://www.ibaikuseikai.com/>
 e-mail iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp



Zoom でリトミック体験



リハビリ的日中活動・棒体操



メンタルロボット「PARO」と戯れ



中間浴槽

日中活動の取り組み

社会福祉法人 芳香会 青風荘路のとう舎

施設長 小倉 喜市

平成4年に旧三和町（現在古河市）に知的障害者更生施設として設立し30年が経過しました。

現在は、施設入所、生活介護、短期入所を運営しています。ご利用者もここ数年の健康診断では、生活習慣病を指摘され、平成22年度より生活習慣病予防対策を開始し、心の安定を考えながら、運動、食事等、連携を図り取り組んでいます。また昨今、障害者支援施設では全国的に利用者の高齢化・重度化が課題となっており、当施設でも入所の平均年齢が49歳となり予防対策と並行して対策を考えています。対策では、浴室・トイレ改修等の環境整備、メンタルロボット「PARO」の導入を実施してきました。「運動」では、日中活動の中で体を動かす機会を積極的に作ってきましたが、令和2年からコロナウイルス感染対策が取られ、従来の日中活動の実施が難しくなり、身体機能の維持が課題となりました。制限された中でも運動時間を確保する取り組みが必要と考え、リハビリ的な視点を取り入れ体を動かす日中活動を実施し継続していきます。

連絡先：古河市尾崎5708

青風荘路のとう舎

電話：02800-791773



ながいの見え方

第7回



災害も疫病も、もしかしたら戦争も忘れた頃に…

日立市手をつなぐ親の会 永井 立雄

東日本大震災からまもなく11年。多くの街が流され多くの命が失われ、茨城でも水道、電気などのライフラインが寸断され不自由な生活を強いられました。当時のことを思い起こすと、あまりにも甚大な被害に呆然とするとともに、私が生きている短い間にもこのような大変なことが起こるものなのだという妙な感慨がありました。

それから10年ほど過ぎて震災の記憶が少しずつ薄れ平穏な日々が流れていた頃、世界は突然未知の疫病に襲われました。新型コロナウイルス感染症の大流行です。医療技術の発達した現代においては、疫病などというものは歴史教科書で学ぶ遠い日々の出来事のように感じていました。しかしマスクの着用、飲食や外出の自粛、イベントの中止など様々な制限のある生活がもう2年近くも続いています。

社会における大きな災厄と言えば災害、疫病などとともに戦争を加えることができるでしょう。第二次世界大戦が終結してから75年以上、日本では曲りなりにも平和な世の中が維持されてきました。しかし世界のあちこちでは未だに武力を伴った紛争が続いています。私の親たちが体験した悲惨な戦争はもう起こらないだろうと漠然と感じていましたが、やはり人生何が起こるかわからないということも記憶しておくべきでしょう。

さて、私たちは日々の日課を黙々となしつづ一日の終わりには眠りにつきます。朝が来ればまた目覚めるという確信とともに。しかし災害や疫病、そして戦争などの大きな災厄は突然やってくるかもしれません。そんな大ごとでなくても病気や事故など個人的な災厄によって命を失うこともあり得ます。あまり思い出したくないのですが、すべての人には必ず死ぬときが訪れます。それがいつなのかはわかりませんが、災害や疫病に備えるのと同じように自分の「死」に備えることも大切ではないでしょうか。

自分の死後、障害のある我が子あるいは兄弟の権利が守られ安全・安心な生活を送ることができるようにするためには何が必要なのか、何をしておくべきなのか、先送りしないで取り組んでいくことがやはり大切なのだとつくづく思います。



知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償
※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金
※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償
※プランによって補償します

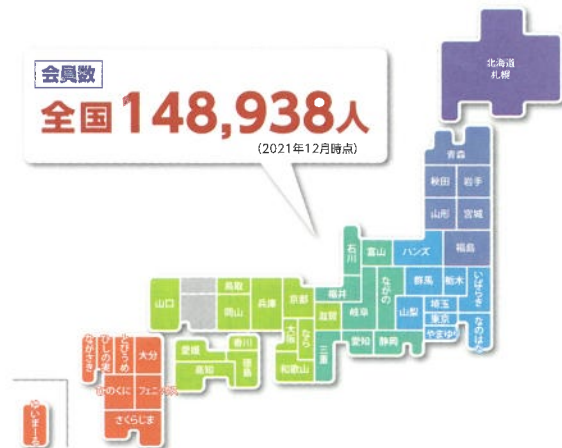
※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約149,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

いばらき障害者生活サポート協会
〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館1階
一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会内
TEL: 029-244-9701 FAX: 029-243-4429
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2021年12月現在の内容です。(D-005640 2023-03)

知的障がい者ボランティア活動に参加して ——コロナ禍で2年振りの活動——

稲敷市手をつなぐ育成会会長 徳永 一成

令和3年(2021)11月18日(木)に支援者13名と知的障がい者1名が参加をし、ボランティア活動を行いました。大利根公園内では、花の植付けと清掃を行い、ハートピアいなしき内(障がい者施設)では、清掃作業を二班に分かれて行いました。作業を始める前に参加者全員で横断幕を囲んで、写真を一枚撮りました。(コロナ禍にて全員マスクを着用)

当会の横断幕は、令和3年(2021)3月に購入していたんですが、新型コロナウイルス感染症が拡大している中で、横断幕がいつお披露目出来るのか、とても不安でしたが、皆さまに知って頂ける記念すべきデビュー日になって良かったと、思います。

ボランティア作業は、10:00開始、一度休憩をはさみ11:45頃に終了しました。参加者全員にパン・お茶を配布し、散会。施設からは、お茶の差し入れを頂いたことボランティア活動に参加して頂いた皆さまがたには感謝を申し上げたいと思います。



大利根公園での植栽作業



施設前で集合写真

令和4年4月からの行事予定

月	日(曜日)	行事予定
4月	19日(火)	第1回総務委員会 (小研A)
5月	13日(金)	第1回理事会 (中研修室)
	15日(日)	茨城県障害者スポーツ大会 (ボウリング) (大学ボウル水戸店)
	21日(土)	茨城県障害者スポーツ大会 (フライングディスク) (笠松運動公園)

月	日(曜日)	行事予定
5月	22日(日)	茨城県障害者スポーツ大会 (陸上競技、卓球) (笠松運動公園)
	28日(土)	茨城県障害者スポーツ大会 (水泳) (山新スイミングアリーナ)
6月	17日(金)	定時総会 (大研修室)
7月	20日(水)	第2回理事会 (中研修室)

編集後記

昨年度より広報委員会に仲間入りさせていただきました。集まる回数が多い委員会ですが、毎回いろんな情報を得ることができ、そして帰りには福祉会館近くの美味しい豆大福を、お土産にと部活動のように楽しんでいます。これからもよろしくお祈りします。

露久保 真依子